

数学科 中学校 1年

単元名「空間図形」
—いろいろな立体—「多面体」

本時の流れ

本時の目標と多面体の定義の確認

課題①の把握

課題②の把握

正多面体の定義の確認

立方体は何面体ですか。
正多面体の定義を満たしていますか。
正多面体の定義では、どのように呼ぶでしょうか。

5種類の正多面体の提示
(見取り図のコピーをノートに貼る)

課題③の把握
グループで考える

頂点の数を調べるには、どのような計算でできますか。

理由の説明

- なぜそのような計算になるのか理由を発表させる。
- 発表から説明を数学的な表現を用いてまとめる。

ペアによる説明

- 計算で辺や頂点の数が求められる理由を説明し合う。

学習のまとめ

- 正八面体で辺や頂点の数を計算で求め、発表する。
- 本時の振り返りと次時の予告をする。
- 評価問題を解く。

本時の目標

- 多面体や正多面体の定義を知り、正多面体の種類が分かる。

【目標】

多面体や正多面体の特徴と、正多面体の種類がわかる。

【課題①】

三角柱は何面体ですか。

分かりにくい生徒に具体物を見せる。

小学校の見取り図の書き方を示し、見取り図を書かせる。

【課題②】

立方体の1つの頂点に集まる面の数はいくつだろうか。

【課題③】

正二十面体の辺や頂点の数を調べよう。

面の数が分かっていることを利用して、考える。

活用の力を育てる評価の視点

- 正多面体の性質を利用して辺や頂点の数を求められる理由を説明できたか。
<数学的な見方や考え方>

HOME

単元の流れへ